

## IEEE Region10 Student Congress Auckland2011 参加報告書

中村 聡

## IEEE 東京理科大学 Student Branch Chair

1. はじめに
- 2011 年 7 月 7 日(木)から 10 日(日)にかけ New Zealand の University of Auckland (Thomas Bldg Campus) にて「IEEE Region 10 Student Congress Auckland 2011 (R10SC)」が開催された。Tokyo Section からは、慶応義塾大学(Ko Kikuta), 東京工業大学(Aya Tokioka), 東京電機大学(Michihiro Ohtsu), 東京理科大学(Akira Nakamura, Takefumi Yamada), 明治大学(Yuki Koike), 早稲田大学(Liu Jiang)の各 Student Branch が参加し、日本からは 13 大学, 14 名の学生が参加した。
- 11:15～ IEEE geographic and GOLD/WIE forums  
13:15～ Emerging technologies seminars 1  
15:00～ Emerging technologies seminars 2  
18:30～ Congress Dinner
- 7 月 9 日(土)
- 09:00～ Overview of IEEE structure  
09:15～ Humanitarian Technology  
09:30～ IEEE Technical Activities  
09:45～ IEEE GOLD Clustering  
09:52～ Global Integrated Network of IEEE  
10:00～ Plenary speakers on IEEE topics  
11:00～ IEEE breakouts 1  
13:30～ IEEE breakouts 2  
14:45～ Panel discussions on topical issues  
16:30～ Delegates' forum  
18:30～ Cultural night
2. R10SC 概要
- 2.1 R10SC 内容
- R10SC は、University of Auckland にて Region 10 (R10)に所属している学生の交流や意見交換, IEEE に関する講演が行われた。
- 2.2 プログラム
- R10SC のプログラムは下記の通りである。
- 7 月 7 日(木)
- 09:00～ Registration  
14:30～ Addresses  
16:30～ Professional Skills Workshop  
18:00～ BBQ
- 7 月 8 日(金)
- 09:45～ Briefings
- 7 月 10 日(日)
- 09:00～ Future directions in technology  
09:30～ Address from the IEEE President & CEO  
10:45～ Group discussions—where to from here  
11:30～ Open IEEE forum  
12:15～ Closing remarks

## 【報告】

平成 23 年 9 月 20 日

### 3. R10SC の様子

本 Congress では、インド、インドネシア、オーストラリア、シンガポール、タイ、バングラデシュ、マレーシア、韓国、台湾、中国などの学生約 100 人が参加した。以下に、当日の様子を示す。

7月7日(木)

午後から開会式が始まり、本 Congress の Chairman の Hengjie Wangh 氏の開会のあいさつを始め、スポンサーである ABB の Grant Gillard 氏のスマートグリッドなどのエネルギーに関する基調講演が行われた。



図 1. 開会式の様子

開会式後にはテーマに沿った Workshop が行われた。テーマは、“Leadership”, “Harnessing project management”, “Technology and the public sphere”, “Visit to the Vector House of the Future” の 4 つが用意され Leadership を選び参加した。Leadership の Workshop では、Leadership から連想される言葉や意味などについて意見を出し合った。

夕食の BBQ では、交流を目的としたゲームが用意されており皆積極的に参加していた。



図 2. Workshop の様子



図 3. Workshop 中のメモ

7月8日(金)

午前中から各教室にセクションごとに集まり IEEE の活動や会員の取得法について話し合いが行われた。話し合いではどのような IEEE の活動を行っているのか、頻度はどの程度かなどを報告し、これからどのような活動が必要かを話し合った。活動において、多くの Student Branch が所属している Section では他大学と協力し様々な Workshopなどを企画することができ、その際に会員を募ることができるが、少ない Section では連携が図れなく Workshop 自体開催することが難しいという問題が出た。しかし、会員の取得については SNS(Social Network Service)を利用することで解決することが

## 【報告】

平成 23 年 9 月 20 日

できるのではないのかという結論に達した。

午後からの Emerging technologies seminars では、4 つの部屋に別れ各々興味を持っているセミナーに参加した。セミナーで IEEE802 無線 LAN の標準化、Smart Grid、Cloud や Mechatronics に関するものが行われた。

Congress Dinner は、大学近くのプロートで行われた。複数のテーブルに別れ参加した学生と様々な話を行った。海外の方々は、私が思っている以上に日本に興味を持っている印象を受けた。また、Student Branch の活動についても積極的に取り組んでいると感じた。

7月9日(土)

午前中には、GOLD(Graduates of the Last Decade)や GINI(Global Integrated Network of IEEE)について簡単な説明が行われ、各グループに別れそれぞれの今後の活動について話し合いが行われた。

午後からは技術や IEEE に関係する個人のプレゼンテーションが行われた。様々な国の方々が発表を行い日本からは“Technologies make headway against catastrophe (The great East Japan Earthquake)”と題し Tokyo GOLD の中山慶一氏(日立情報システムズ)がプレゼンテーションを行った。

夜には、本 Congress に参加した国々の文化交流を目的とした Cultural night が行われた。それぞれの国は、お土産や伝統的な遊具などを持参し展示していた。日本からは、剣玉、折り紙、扇子や習字などの展示を行った。Cultural night の中盤ではステージ上において各国のパフォーマンスが行われた。インドは踊り、韓国は軍歌を歌い我々は相撲を行った。Cultural night により様々な国の文化を肌で感じ、説明を聞くことにより興味を持つことができた。



図 4. Cultural night 相撲パフォーマンスの様子



図 5. 習字のパフォーマンス



図 6. Cultural night

7月10日(日)

閉会式では、基調講演が行われ、その後、グループディスカッションが行われた。ディスカッションでは、10名ほどの複数のグループに別れ、“どのよ

## 【報告】

平成 23 年 9 月 20 日

うにして IEEE の会員を増やすか”，“どのようにして IEEE のネットワークを広めるか” をテーマにして行われた。

### 4. 最後に

本 Congress に参加し，海外の学生は日本とは違い学部生が中心となり Student Branch を運営し積極的に参加していることに驚かされた。日本においても大学院生だけでなく学部生がより参加しやすい Workshop 平成 24 年 1 月 30 日平成 23 年 9 月 20 日などを企画していきたいと考えている。

### 謝辞

本 Congress に参加するにあたり，多くの方々にお世話になりました。特に IEEE Tokyo Section から支援をして頂き本 Congress に参加することができました。この紙面を借りて皆様に深く感謝申し上げます。